

豊庄だより



第 700 号 2022 年 3 月 14 日

ひまわり組のお友だち、卒園、おめでとう！卒園式を迎えるにあたり、もも組からの 6 年間の写真をじっくりと見直しました。

まず、もも組。この写真を見てください。先生は、堀内先生かな？2 人

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



もも組 2016 年 4 月



もも組 2017 年 3 月

を抱っこし、その前を通り過ぎようとする、この子は誰かな？鼻水を取ってもらっています。ひとりの保育士が 3 人の子どもを担当する、「3 対 1 の世界」です。この年のもも組は、確か 9 人でスタートしたはずだったなあと、全員が写っている誕生会の写真を探しました。なかなか見つかることができませんでした。まだ保育園に慣れず、体調を崩してお休みをすることが多かったのでしょう。



さくら組 2017 年

次はさくら組。さくら組ですぐに頭に浮かんだのは、テレビ局が取材に来たことです。保護者のみなさんには、卒園式が始まる前に、その時放送された映像を見ていただきましたが、どうでしたか？「音の風景 保育園で泣き声を聞く」というタイトルがついていましたが、4 月の保育園は、タイトル通り泣き声で溢れてい

ました。初めて保育園での生活を体験する子どもたちにとって（親もですが）、「試練の 4 月」だったことを思い出しました。

そして、すみれ組。この年は台風が接近し、運動会をホールでクラス入れ替え制で行いました（雨天プログラム）。ホールは、ぎゅうぎゅう詰めの状態でしたが、演技する子どもたちと保護者（観客）の距離が近くなり、いつもと異なる感動がありました。



すみれ組 2018 年



ばら組 2019 年

ばら組です。ここからひまわり組までの3年間は、岩佐先生が担任でした。行事の取り組みも増えてきて、友だち同士のやりとりもよりエネルギッシュになってきました。先生たちも元気でした。舞台は運動会。前の年のうっ憤を晴らすかのように、クイーンの曲(ウィー ウィル ロック ユー)に合わせて、椅子を一つひとつ取っていき、宙に浮いたような状態となり、最後は両手をあげて決めました。

せて、椅子を一つひとつ取っていき、宙に浮いたような状態となり、最後は両手をあげて決めました。

しかし、次の年のゆり組のスタートは、コロナ禍の影響で暗いものとなりました。登園の自粛に始まり、6月になってようやく緊急事態宣言が解除されましたが、その間、楽しみにしていた親子バスハイクは中止、夏祭りや誕生会も制限しなければなりませんでした。運動会も、密を避けるため入れ替え制でした。またプログラムも絞らざるをえなくなり、「今、出来ること、すべきものは何か？」と職員間で話し合い、「親子競技」をメインにすることにしました。



ゆり組 2020 年

保育園最後の年、ひまわり組になってもコロナウイルスの感染拡大は収まらず、様々な取り組みについて、感染予防対策を行事ごとに考えなければなりません



ひまわり組 2021 年

した。そうした中で、私が一番印象に残っているのは、生活発表会での劇「スイミー」です。ひまわり組18人、一人ひとりが気持ちを一つにして取り組んだからこそ、「スイミー」のテーマである「力を合わせることの大切さ」を観る人に伝えることができたのだと思いました。

駆け足で、6年間を振り返りましたが、4月からは小学校での生活が始まります。きっと期待と不安な気持ちでいっぱいでしょう。豊庄保育園での思い出を大切に、新しい世界に飛び込んでください。※卒園式で話したこと(園長あいさつ)を一部省略して載せました。



ひまわり組 2022 年 3 月 12 日